

暗号資産事業の開始および国際財務報告基準（IFRS）任意適用について

2024年10月の持株会社化により当社がAIフュージョンキャピタルグループ株式会社として新たなスタートを切り、2030年3月期に時価総額1,000億円を目標とする中期経営計画（AI革命1.0）を策定致しました。

その後、2024年12月にはDX分野で強みを持つ株式会社ショーケース（証券コード3909）及びその子会社ReYuu Japan株式会社（証券コード9425）等を子会社化し、さらに2025年1月にはミライコイン株式会社を設立し、暗号資産投資事業にも進出致しました。オルタナティブ金融資産としての特性に加え、当社が事業の軸に据えるAIと密接な関係を有する暗号資産分野への投資も積極的に展開してまいります。

このように中期経営計画の達成に向けて手元資金を積極的に有効活用するこれらの動きが着々と進む中、財務情報の国際比較可能性や利便性向上のため、当期（2025年3月期）第3四半期より国際財務報告基準（IFRS）を任意適用することと致しました。

当社の連結財務諸表への影響として考えられる主な項目は以下の通りです。

- IFRSでは、M&Aで発生したのれんが每期定期的に償却されない（一方で、回収可能価額と帳簿価額を比較する減損テストが行われる）
- IFRSでは、株式等の金融資産の公正価値の変動を、原則全て当期の損益として認識する（含み損益を含む）

また、IFRSの任意適用や、株式会社ショーケース等の子会社化により売上高の大幅増が見込まれるなど前提条件が大きく変化したため、2024年10月29日に公表しました2025年3月期の連結業績予想をいったん取り下げ未定と致しました。各項目の精査が完了し、合理的な算定により開示できる状況が整い次第、速やかに公表させていただきます。



AI Fusion
CAPITAL GROUP

AIフュージョンキャピタルグループ株式会社
〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町4番1号
ニューオータニガーデンコート
TEL 03-6261-9511 FAX 03-6261-7137

当社は、今後も中期経営計画を達成すべく積極的な投資・事業展開を行い、株主価値の最大化に注力してまいります。

引き続き、皆様のご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

AI フュージョンキャピタルグループ株式会社

代表取締役社長 澤田大輔



AI Fusion AIフュージョンキャピタルグループ
CAPITAL GROUP



MIRAICOIN

ミライコイン株式会社